

## 「令和3年度青少年育成センター運営協議会」会議録

【日時】令和3年7月9日（水）19:55～20:20

【場所】境港市保健相談センター 健康相談室

【出席者】門脇哲也、松本敏浩、長谷川伸、阿部宏之、西俣大祐、菅幸恵、三輪仁志、赤石周平、田中友一郎、八木橋柳一、植田建造、干山浩一、戸田隆久、松本晶彦（14名・敬称略）

【欠席者】寺本康夫、田中栄治、望月裕之（3名・敬称略）

【傍聴者】なし

【事務局】松本 昭児（生涯学習課長兼青少年育成センター所長）

川田 修一（青少年育成センター副所長）

角本 豪（生涯学習課長補佐兼生涯学習係長）

竹本 夏樹（生涯学習課生涯学習係主任）

### ■開 会

委嘱状交付。

青少年育成センター運営協議会の成立には委員の3分の2以上の出席が必要であるが、委員17名中14名が出席しており、この協議会は成立。

### ■協議事項

#### 1. 令和2年度の活動報告

<会 長> 事務局からの報告を求める。

<事務局>

川田副所長より説明。

主な活動は以下の通り。

◇運営組織図の説明、青少年育成センターと適応指導教室（やすらぎルーム）には同じ職員が勤務しているため、報告が重複することがある。

◇昨年度からスクールソーシャルワーカーは教育委員会事務局付けになっている。組織図のスクールカウンセラーの下に「スクールソーシャルワーカー」と記載してください。

◇4月に「いじめ・悩み相談ホットライン携帯電話」について小中学生に案内。

近年、問い合わせ件数は少ない。

◇毎月4～9回程度の市内巡回・学校訪問を行っている。

◇みなと祭の夏季街頭は中止となった。プラント5とゲームセンターの街頭補導は実施。ゲームセンターに小中学生はおらず、お年寄りが多い。

◇様々な研修会に参加、児童相談所やスクールカウンセラーと協議をしている。

◇青少年育成センターだより「はまっこ」（広報誌）の作成。

◇昨年度は高校生マナーアップ運動や市民運動会が中止。

◇11月に青少年意見発表会があり、一中・二中・三中から3名ずつの9名が意見発表を行った。

◇2月に青少年育成研修会が開催され、教育委員会事務局の渡邊憲二特別支援コーディネ

ネーターが講演。

◇月別相談件数は適応指導教室（やすらぎルーム）への相談がほとんど。  
最近では、松江市や米子市からも不登校の相談がある。

<会 長> 質疑・意見を求める。

<八木橋> いじめの件数は減ってきているのですか？

<川 田> 電話での相談は減ってきています。平成 27 年度は育成センターへの電話が 13 件ありますが、28 年度は 4 件、29 年度が 2 件、30 年度が 2 件、令和元年度は 1 件、令和 2 年度はありませんでした。

<教育長> それに関連しますと、いじめそのものが減っているわけではなく、学校がちょっとしたトラブルでもいじめと捉えながら関わるというような方針としておりますので、学校での対応というのは結構あります。学校だけでは解決できない問題もありますので、警察のお世話になったり、児童相談所とタイアップしたりしているところでもあります。

<会 長> 質疑を打ち切る。承認される方の拍手を求めます。

拍 手

<会 長> 令和 3 年度の活動計画（案）は承認されました。

## 2. 令和 3 年度の活動計画（案）

<会 長> 事務局から説明を求める。

<事務局> 川田副所長より説明。

主な活動計画は以下の通り。

活動内容は例年どおり。具体的には下記のとおり。

◇活動内容

街頭指導 ⇒ 街頭パトロールの実施

青少年相談 ⇒ 来所または電話相談による受付

環境浄化 ⇒ 関係機関との市内巡回

広報啓発 ⇒ 青少年育成センターだよりの発行

<会 長> 質疑・意見を求める。

特になし

<会 長> 質疑を打ち切る。承認される方の拍手を求めます。

拍 手

<会 長> 令和3年度の活動計画（案）は承認されました。

### 3. 役員の改選と承認

<会 長> 事務局からの報告を求める。

<事務局> 先ほどの市民会議の理事会での役員と合わせて、会長を長谷川伸さんで提案します。

<会 長> 承認される方の拍手を求めます。

拍 手

<会 長> 役員の改選は承認されました。

■閉 会